

## 第3回 商工センター地区まちづくりビジョン検討会 議事要旨

### 1 検討会名称

第3回 商工センター地区まちづくりビジョン検討会

### 2 開催日時

令和6年5月10日（金） 午後3時30分～5時10分

### 3 開催場所

中小企業会館本館 2階 研修室  
(広島市西区商工センター一丁目14番1号)

### 4 出席者

(1) 委員（委員9名中9名出席）

(2) 事務局

都市整備局 都市機能調整部商工センター地区活性化担当 担当部長、担当課長、ほか関係職員  
(関係部局等)

市民局 スポーツ振興課長

経済観光局 次長、経済企画課長、雇用推進課長

商業振興課長、

観光政策部長、MICE 戦略担当課長

新市場建設担当課長

都市整備局 都市計画課長

道路交通局 道路計画課長

鉄軌道担当課長

西区 建設部長

### 5 議題

(1) 地域からの提案の実現に向けた検討の進め方について

(2) MICE 関連施設の整備に向けた概略的手順のイメージ（試案）について

(3) MICE 施設の需要調査について（中間報告）

(4) 地区の現況について

（ア） 経営実態調査結果

（イ） 新中央市場整備事業における「にぎわい施設」

（ウ） 交通施設の現況

### 6 公開・非公開の別

公開

**7 傍聴人の人数**

一般傍聴者 5 名

**8 検討会資料名**

次第

商工センター地区まちづくりビジョン検討会委員名簿

資料 1 地域からの提案の実現に向けた検討の進め方

資料 2 MICE 関連施設の整備に向けた概括的手順のイメージ（試案）

資料 3 MICE 施設の需要調査について（中間報告）

資料 4 商工センター地区経営実態調査結果

資料 5 中央卸売市場新中央市場整備事業における「にぎわい施設」について

資料 6 交通施設の現況

## 9 各出席者の発言の要旨

### 事務局

それでは、第3回商工センター地区まちづくりビジョン検討会を開会する。

### 戸田（常）座長

議題(1)の地域からの提案の実現に向けた検討の進め方について、事務局から説明をお願いする。

### 事務局

(資料1に沿って説明)

### 戸田（常）座長

資料1について御質問、御意見をいただきたい。

「①MICE 関連施設の整備」と「②アクティビティセンター」、そして右側にある「③港周辺のにぎわいづくり」、この2つの流れが「公共空間（オープンスペース）の活用によるにぎわいづくり」や「④規制緩和と土地の高度利用による街のにぎわいづくり」に反映されている。その結果を基に「交通機能」を検討するということ。

### 事務局

座長御説明のとおり、MICE とにぎわいが生み出す人の流れを踏まえて交通機能を考えていくという大きな流れではあるが、必要に応じて、交通機能を踏まえて MICE やにぎわいを相互に調整していくものも出てくると考えられる。

### 湯蓋委員

MICE 関連施設の建設予定地には西部埋立第五・第六公園があり、サンプラザ周辺には緑道もある。こういったものを現在と違う用途に使用するのであれば、何らかの形で公園機能等の復元を考える必要があるのではないか。

### 戸田（常）座長

湯蓋委員からの御質問は議題2の内容に密接に関係するため、議題2の意見交換の際に事務局から説明いただきたいと思う。ほかに御質問等はないか。

### 戸田（祐）委員

「④規制緩和と土地の高度利用による街のにぎわいづくり」について、他の項目と線でつながっていないが、どのように検討を進めていくのか。

### 事務局

「④規制緩和と土地の高度利用による街のにぎわいづくり」のほか、「都市公園の一部区域を活用した施設の整備」については、それぞれの取組と関係しており、相互に調整しながら検討していくた

め、あえてそれぞれ細かく関係性を線でつなげていないというものである。

### **戸田（常）座長**

ほかに御質問等がなければ次の議題に入らせていただく。それでは、議題(2)の MICE 関連施設の整備に向けた概括的手順のイメージ（試案）について、事務局から説明をお願いする。

### **事務局**

（資料2に沿って説明）

### **戸田（常）座長**

資料2について、御質問、御意見をいただきたい。

まずは、先程の湯蓋委員からの御質問、公園機能の復元や緑道について、事務局から説明をお願いする。

### **事務局**

公園や地域施設の整備に当たっては、地域の活性化に資する整備内容を検討するとともに、既存機能の代替機能の確保も検討したいと考えている。今回の試案は方針を決定したものではないが、仮にこういった形で公園上に施設を整備することになれば、今ある機能の代替機能をどこか別のところで確保できないか検討していきたい。西部周遊緑地についても、地元から再整備の要望をいただいているが、地域の活性化に資するものとなるような活用を考えていきたい。

### **伊藤委員**

Step 2で広島サンプラザ本館棟の機能を中小企業会館本館がある場所に移転することになっているが、現在有している機能はどうなるのか。中小企業会館本館を解体してホテル等を整備することになっているが、その間ここにある機能はどうなるのか。

### **事務局**

広島サンプラザ本館棟が Step 2 の新たなホテル等を整備する中でどうなるかということに関して、令和5年度の利用実績をみると延べ約 12 万 6 千人となっている。内訳も市内のみならず県外や海外といった多くの方々に御利用いただいているため、MICE 施設の規模や配置、整備時期といった具体的な内容を検討する中で、広島サンプラザ本館棟のあり方も検討していきたいと考えている。

### **伊藤委員**

もう少し具体的に教えてほしい。

### **事務局**

中小企業会館本館の取扱いについては、今後も引き続き協議をさせていただきたい。

### **伊藤委員**

所有権を有する協同組合広島総合卸センターはどうなるのか。

### **事務局**

中小企業会館が解体ということになると一時的に別の場所に移っていただくななどの対応を相談させていただきたい。その後に建てる建物については、今後の民間投資の状況も踏まえながら、引き続き入居いただくかなどを協議させていただきたいと考えている。

### **伊藤委員**

さらに言えば、街づくり提案ではここにアクティビティセンターを位置付けていたがそれはどうなったのか。

### **事務局**

この資料はMICE 関連施設に主眼を置いて整理しているためその他のものはあえて入れていないが、広島サンプラザの宴会場などの機能はホテル等に移っていくものと見込んでいる。

また、資料の中のホテル等の「等」の中に、アクティビティセンターの機能や中小企業会館の所有権を持たれている卸センターも入っていただくことになるのではないかと現時点では考えている。卸センターの事業が継続できるということは大前提となると考えており、今後調整させていただきたい。

### **戸田（常）座長**

ほかに御質問等はないか。

### **南浦委員**

広島サンプラザや公園は地域の方が頻繁に利用されているので、新しい施設を作つてから既存施設を取り壊すというステップの運び方は非常にありがたく思う。

その中で、湯蓋委員からも御意見があつたが、公園内に MICE 施設を作るとなると公園面積が圧縮されるため、公園を管理する西区としては、公園面積を確保する方法もあわせて検討していただければと思う。

### **戸田（常）座長**

ほかに御質問等はないか。

### **西本委員**

各施設の機能を損なわないように手順を追つて整備を行うという議論は他都市でもなかなかできていないため、今回、非常に緻密に議論されているように感じた。

今回の試案では MICE 施設と新しく整備されるホテルの場所が若干遠くなり、道を斜めに隔てることになる。こうした場合、パシフィコ横浜のようにそれぞれのメインエントランスをペデストリアンデッキで繋ぐイメージが良いのではないかと思う。

また、展示場を整備する際に十分な荷捌き場を設けていなかったというケースも度々あるので、施設の検討に当たっては、展示スペースのほかにも十分な荷捌き場や駐車場、車両出入口等を確保するよう検討していただきたい。

### 事務局

MICE 施設とホテルの 2 階部分での接続については、ペデストリアンデッキの延長や、屋根の設置なども検討する必要があると考えている。

荷捌き場等のバックヤード部分もしっかりと検討していきたい。

### 戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

### 湯蓋委員

今回の整備の中で、中小企業会館北側の駐車場を別の用途で使用する予定はないのか。

### 事務局

今回の資料では委員御指摘の駐車場の活用についてお示しできていないが、議題 3 で中間報告させていただく展示場の規模を踏まえて駐車場についても議論する必要があるため、その議論とあわせて当該駐車場の活用についても検討を深めていきたい。

### 戸田（常）座長

ほかに御質問等がなければ次の議題に入らせていただく。それでは、議題(3)の MICE 施設の需要調査について（中間報告）、事務局から説明をお願いする。

### 事務局

（資料 3 に沿って説明）

### 戸田（常）座長

資料 3 について、御質問、御意見をいただきたい。

### 西本委員

需要調査は前回の検討会で私から要望させていただき、精緻に実施していただいたが、既存顧客のみという手堅い調査でも 5,600 m<sup>2</sup> という数字が出たのは、広島市の経済の強さを反映しているものと思う。

ただ、今回の調査は今まで行われていたイベントの延長線上でしかないと、学会等新しい MICE を呼び込んで交流人口を拡大する、経済効果を高めていくということを考えると、例えば、今回の調査結果を第一期の展示場面積とし、それで操業してみて需要があれば第二期としてさらに面積を拡張していく手法を検討してみてはどうかと思う。

## **事務局**

委員からの御提案についてしっかりと検討を深めていきたい。また、どのように MICE を誘致していくかも、観光コンベンションビューローも含めてしっかりと検討していきたい。

## **戸田（常）座長**

ほかに御質問等はないか。

## **伊藤委員**

東北大学が学会を開くと多くの人が集まり、会議も多くある。やはり、大学の存在が MICE 需要を考える上では大きいと思う。今回の調査対象にはなっていないが、広島大学と協議してみてはどうかと思うがいかがか。

## **事務局**

委員からの御提案については、今後の潜在需要調査の中で、広島大学との協議も含めてしっかりと検討し、調査の確度を上げていきたい。

## **戸田（常）座長**

潜在需要に関する調査結果はいつまとまるのか、また、展示室以外に、ロビー、会議室等どのような機能を配置するのか、これらについて説明いただきたい

## **事務局**

委員からいただいた御提案内容も含めて、次回の第4回検討会で調査結果を御報告させていただきたい。展示室以外にどのような機能を配置するのかについても、次回以降の検討会でお示しさせていただきたい。

## **戸田（常）座長**

ほかに御質問等がなければ次の議題に入らせていただく。それでは、本日最後の議題となる議題(4)の地区の現況について、3点あるがまずは1つ目、(ア)経営実態調査結果について、事務局から説明をお願いする。

## **事務局**

(資料4に沿って説明)

## **戸田（常）座長**

資料4について、御質問があればいただきたい。

## **西本委員**

Aゾーンで規制緩和しているのにそちらの方が売上高の伸びが低いということは意外であった。MICE施設が整備された場合の新たな事業展開については予想よりもかなり鈍い反応だったが、新しく整備されるMICE施設により人が集まってきた時にどのようなビジネスチャンスがあるのかまだ皆さんにイメージがつかめていないためだと思う。今後、実際に何が起こりうるかということをわかりやすく見せていく努力も必要になるのではないかと思う。

### 事務局

委員御指摘のとおり、現段階ではMICE施設の概要が見えていないため、事業者の方もイメージできていない部分が多いと認識している。一方で、MICE施設の整備に伴い地区外からの来訪者が増えることをビジネスチャンスと捉え、小売りや飲食をやっていきたいという声もあったため、MICE施設の概要が具体化していく中で、引き続き地区内事業者の皆様から御意見を伺い、規制緩和の検討を続けていきたいと考えている。

### 戸田（常）座長

今後の進め方について、Aゾーンを主とした規制緩和の具体的な内容について検討するとあるが、その前にAゾーンとAゾーン以外でなぜこのような違いがあるのかを明らかにして、それを踏まえて規制緩和の検討を行ってはどうか。

### 伊藤委員

Aゾーンは繊維街であり、これは社会情勢の変化の中で繊維は卸売業が成り立たなかつたということだと思う。卸センター全体で4部会ある中で、他部会は60社ぐらいだが、繊維部会は40社ほどが撤退して現在20社程度しかいない。

### 戸田（常）座長

伊藤委員からの説明で理解した。奥野委員、何か御意見はあるか。

### 奥野委員

伊藤委員のおっしゃるとおりだと思うが、規制緩和がされているのであれば新しい業態が入ってきてもいいのではないかとも思う。西本委員がおっしゃるように、新しいMICE施設が整備されたら、既に規制が緩和されている隣接区域の様相も随分変わってくるのではないかと感じている。

### 戸田（常）座長

ほかに御質問等がなければ次に入らせていただく。議題(4)の地区の現況についての2つ目、(イ)新中央市場整備事業における「にぎわい施設」について、事務局から説明をお願いする。

### 事務局

(資料5に沿って説明)

### **戸田（常）座長**

資料5について、御質問があればいただきたい。

### **西本委員**

MICE 施設を作るからにはそこにお金を落とす仕掛けが必要であり、経済効果を狙うには宿泊が必要になってくる。高松市でも外資系ホテルの誘致に成功しているが、眼前に島々の多島美を見渡せる商工センター地区でも同じようなことを狙っていけるのではないか。MICE 参加者が海辺で食事をしたり、MICEがないときでもインバウンド客が泊りがけで訪れるように、草津漁港と MICE 施設の双方で商工センター地区を活性化させていくという連携があれば良いと思う。

### **事務局**

今年度にぎわい施設のコンセプトを作成することとしており、どうしたら多くの観光客、周辺地域の方に訪れていただけるのかも含めて検討していきたい。

### **戸田（常）座長**

ほかに御質問等はないか。

### **戸田（祐）委員**

西本委員の御意見に關係して、夜しか見られない夜景などがあれば宿泊につながると思う。瀬戸内海のきれいな夕日の多島美なども活用しつつ、金沢港のように波のように動くライティングをするなど夜に人が来てくれるような仕掛けもこの整備の中に取り込んでみてはどうかと思う。

### **戸田（常）座長**

ほかに御質問等はないか。

### **奥野委員**

中央市場は駅から距離があり、ペデストリアンデッキから徒歩で人を呼び込むということになると、一般市民が訪れやすいにぎわい施設になるのかどうかと思う。駐車場を設置すれば良いということだけではないと思うので、交通や宿泊施設も含めて、人を連れてくるような仕掛けが非常に重要になってくるのではないかと思う。

### **西本委員**

奥野委員の御意見に關係して、広島空港を起点として広島駅、MICE 施設（商工センター地区）、草津漁港をつなぐシャトルバスを常時運行させて、それを利用したインバウンド客が草津漁港を訪れ、瀬戸の島々への観光拠点として一定期間にわたり宿泊滞在し、夜のにぎわいや経済効果を創出できればよいと思う。

### **戸田（常）座長**

ほかに御質問等がなければ次に入らせていただく。議題(4)の地区の現況についての3つ目、(ウ)交通施設の現況について、事務局から説明をお願いする。

### 事務局

(資料6に沿って説明)

### 戸田（常）座長

資料6について、御質問があればいただきたい。

### 湯蓋委員

JRと広電宮島線しかイメージされていないが、もう1つ広島バスが通っている。このバスの利用がなぜないかというと、バス停に行くためのアクセスが確保されていないので一般の方はほとんど知らない状態である。既存のバス路線が活用できるようになれば新井口駅周辺のアクセスも変わってくると思う。

JRや広電宮島線だけでなく、バス路線も含めた三位一体の整備を考えていかないと地域の発展に寄与していかない。加えてアルパークのバスターミナルも活用して、バス路線の拡大も検討していただければありがたく思う。

### 事務局

交通結節機能の強化に関する御指摘だと認識している。JRに広電、広島バスの運行に加えてアルパークのバスターミナル機能もこの地域の特色である。過去に比べてバスターミナルが活用されていないという現況も把握しているが、そういった施設を最大限活用し、JR、広電、バス機能をフル稼働させて地域を活性化させていきたいと考えている。

御指摘の課題について念頭に置いてどういった活用が可能か検討を進めていきたい。

### 戸田（常）座長

よろしくお願いする。ほかに御質問等はないか。

### 西本委員

新井口駅から中小企業会館まで歩いてみて、約700mは少し長いかもと思うが、700mあることで電車が駅に到着する度に人が一気に押し寄せることがなくなり、混雑が分散されるというメリットもあると感じた。

ただ、この距離を歩くのは途中で退屈してしまうので、途中途中で来訪者が何かしら商工センター地区を楽しめるような仕掛けを作ったら良いと思う。タイのバンコクにあるスクンビットにはペデストリアンデッキのようなスカイウォークがあるが、途中途中にインスタ映えするような撮影スポットを設けたり、歩く人を飽きさせない仕掛けがある。こういった例も参考にしながら、ペデストリアンデッキをただ歩くだけの場所ではなく、エンターテイメント化し、楽しめる場所にするような取組が必要ではないかと思う。

### **伊藤委員**

街づくり提案では JR と広電の駅が橋上駅になるような提案をさせていただいている。コンサート等のイベントがあった際に、大変な混雑で非常に危険であるとの声があったため、混雑緩和を図ることを主な目的として提案させていただいた。

スポーツイベントの約 4,000 人を対象にした交通量調査で概ね問題なかったとのことだが、新しい MICE 施設が整備されて 5,000 m<sup>2</sup>以上の場所で有名歌手がコンサートをするということになれば大変な人数が集まることになると思うがいかがか。

### **事務局**

今回は現況の把握というところから検討させていただいている。新しい MICE 施設等の人流を加えたときにインフラをどのようにしていく必要があるのか検討する基礎情報を確認した段階であり、この調査をもって 5,000 m<sup>2</sup>超の MICE 施設を整備しても問題ないという趣旨ではない。

調査は今回で終わりではなく今後も継続していく予定である。MICE 施設の使い方によって、歩行者の交通量も大きく変わるとと思うので、こうしたことも踏まえながら、次回の検討会で交通施設のあり方等について御議論いただきたいと考えている。

### **戸田（常）座長**

ほかになければ、全体を通しての御質問、御意見をいただきたい。

### **秋田委員**

本日は MICE 施設の整備や中央市場のにぎわい施設について説明させていただいた。これらは全てが相互に連携していると考えており、委員からの御意見をしっかりと受け止めて、市として主体的に検討していきたいと考えている。

西本委員から資料 4 の規制緩和に関してなかなか具体的な話が出てきていないとの御意見があつたが、こういったことをお示ししていく中で様々な意見が出てくるものと考えられるため、そういう意見も踏まえてしっかりと検討していきたい。

### **西野委員**

本日は MICE 施設の機能について主に説明させていただいたが、公園機能やにぎわい機能、他の様々な施設の機能をいかに相互に関連づけて、交通機能につなげていくかといったことを今後御議論いただきたいと考えている。

### **戸田（祐）委員**

新井口駅の交通機能強化やペデストリアンデッキの延長といった交通機能について、MICE 施設の規模や今後の将来予測を踏まえた上で、どのようにアクセスしていくかということを考えていきたい。

その中には草津漁港を使った海からのアクセスも考えられるし、鉄軌道のほかにいろいろなところから来ていただくためにバスを南道路に通すとか、宮島街道を使っていただくとともに考えられるため、

次回の検討会で交通機能についてしっかりと議論していきたい。

### 南浦委員

MICE 施設の整備に公園の土地を使うことについては理解できるが、施設が公園に合っているか、公園の代替施設を作ることができるかといった問題もある。資料2のStep3ではMICE施設を拡張する形になっており、そのときに空いた部分を公園にするなど様々な方法があると思う。新しいこともできるかもしれない、都市整備局と西区役所で連携しながら検討していきたいと考えている。

### 奥野委員

広島全体として大規模な展示場をもった施設が少ないということを踏まえ、拡張できるような設計で進めるにしても限界はあると思うので、最初の規模感を間違うことのないようにお願いしたい。

今ある需要だけではなく、広島に求められる新たな需要についても、市と観光コンベンションビューローで連携しながらしっかりと分析を行っていく必要があるのではないかと感じている。

### 伊藤委員

私は組合員や地域の方からこの計画にいつ日付が入るのかということを期待されている。スケジュールが決まらないと、事業者が業態転換を考える上でも30年後と言われても全く現実味がなく、10年後であれば考える必要があると覚悟もできる。この計画にはいつ日付が入るのか。

### 事務局

資料2の試案については、これまでの検討会の議論を基に提案の実現に向けたMICE関連施設のイメージをまとめたものであり、時間軸については、周辺との関係性や相乗効果を踏まえて検討していく必要があるため今回は明確にはしていない。

しかしながら、委員御指摘のとおり、まちづくりを考えていく上で時間軸は重要であり、現状考えられるものとしては、中央市場の再整備が約10年後に行われるというところと連携を図る必要があると考えている。

また、広島サンプラザの耐用年数については残り約20年であるため、それらの10年後、20年後といったところがそれぞれStep1の終わり、Step2の終わりという1つの目安になってくるのではないかと現時点では考えている。

ビジョンを作るからには実効性の高いものにしたい。取組全てに日付を入れるというのは難しいかもしれないが、ビジョンに位置付けることによって、次のステップに確実に進むように、どのくらいの時期に何をということは具体的にして、前に進むビジョンにしていきたい。

### 伊藤委員

早くしてほしいというのが正直なところである。例えばMICE施設については10年後には大体完成しているのではないかと思うが、今の話では20年後ということか。

### 事務局

Step 1 の終わり、初期の MICE 施設の整備を 10 年後にということを 1 つの目安として考えている。ビジョンに位置付けるといつても、短期・中期・長期と様々な取組があるが、この Step 1 は早い時期になろうかと思う。

MICE 施設だけでなく、MICE 施設に関連づけるにぎわいや交通機能、そういったものの相互の関係も踏まえながら検討し、次回の検討会にスケジュール的なものは示していきたいと考えている。

### 戸田（常）座長

徐々に具体的なイメージを出していっていただきたい。伊藤委員がよろしければ、続いて湯蓋委員に御意見をいただきたい。

### 湯蓋委員

以前の商工センター地区活性化検討会で示された方向性を前提に、今回のビジョン検討会で次のステップに進んでいくものと考えていたが、必ずしもそうではないようである。これまでの活性化検討会と今回のビジョン検討会の違いを示していただければ理解しやすいので、そこを踏まえた説明をしていただけたるとありがたく思う。

### 戸田（常）座長

重要な御意見である。これまでの議論の積み重ねを今回新たに検証していくため、変わったことがあればしっかりと説明していただきたい。続いて西本委員に御意見をいただきたい。

### 西本委員

今回の検討は単なる MICE 施設の検討ではなく、MICE 施設を中心としていかに商工センター地区を活性化させるかが最大のテーマだと思っており、私自身一番関心があるのは、いかに草津漁港を活性化させて相乗効果を生み出していくのかということである。

現在、広島駅前のエリアが非常に発展してきており、広島市全体として、発展しているところ、そうでないところの差が広がり、一極集中が進んでいる状況だと思う。ここからいかに商工センター地区に力点を引き戻すかといった観点で今後の議論にも参加していきたいと考えている。

### 戸田（常）座長

各委員から様々な御意見をいただいた。

ソフト・ハード含め、いただいた御意見を踏まえて建設的に検討し、実現可能性のあるビジョンを作るためには何をすべきか整理していく必要がある。次回の第4回検討会では、ある程度ビジョンの具体化が見えるような提案をいただきたい。

それではこのあたりで閉会させていただく。事務局には本日の議論を踏まえた上で検討いただき、次回の検討会において報告をお願いする。

### 事務局

本日は多くの貴重な御意見をいただき感謝する。本日いただいた御意見等を踏まえ、MICE 施設をは

じめ様々なにぎわいづくり、さらには交通機能の強化についての検討を次回の検討会に向けて進めていく。その上で、まちづくり、この地区の全体の姿というものが具体的になってくると思うので、次回御議論をお願いしたいと思う。

交通機能の強化に関する取組について御紹介させていただく。

公共交通に関しては、人口減少、少子高齢化等により利用者が減少してきたところへコロナ禍における輸送需要の大幅な減少があったため、全国的にも大変厳しい状況にある。こうした中で、本市では移動や輸送を担う公共交通を支えることは基礎自治体としての重要な責務であると考えており、事業者間の競争から協調して運用するものへと舵を切り、利用者の利便性を重視した広島型の新たな公共交通システムの構築を進めている。

その中でも特に厳しい状況にあるバス事業について、事業者8社と本市を中心とする共同運行システムの構築に取り組んでおり、本年4月には個々の事業者ではこれまで成しえなかつたことを各社が手を携えて実現し、全体最適化を図っていくための官民共同の組織体を立ち上げたところである。

商工センター地区を発展可能なものにするためには、こうした動きと歩調を合わせながら、地区にふさわしい持続可能な公共交通がどういったものかを地域と共に検討していく必要があると考えている。

次回以降の検討会では、提案実現に向けた実効性のあるビジョンにするため、様々な取組と関係性をもたせながらどのような公共交通であるべきか、また、持続可能な公共交通にしていくために地域と一緒にどのように運行していくべきかといった視点で御議論いただきたい。

また、日程については、事務局の方で調整させていただきたい。

#### 戸田（常）座長

それでは、第3回商工センター地区まちづくりビジョン検討会を閉会する。

ありがとうございました。